田川議員（公明党）

平成 26 年 12 月 11 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）教員の多忙化と病気休職との因果関係について

ＯＥＣＤ（経済協力開発機構）がまとめた教員環境の国際比較２０１３年版によると，日本の教師の１週間当たりの仕事時間の合計は，５３．９時間で，参加国平均の３８．３時間を大きく上回り，その長時間労働ぶりは突出している。

ＮＰＯ法人日本教育標準研究所が２０１３年に，小学校教師２０００人弱に調査したところ，最大の悩みは「時間的な忙しさ」と答え，精神的なゆとりもなく，自分の時間が持てないことに深い悩みをもっていることが伺え，最近のメンタルな悩みで休職する教師が増える背景が分かる気がした。

そこで，教員の多忙化と教員が病気休職している因果関係をどのように考えているのか，伺う。

（答）

病気休職に至る要因は様々であり，教員の多忙化と病気休職との因果関係の特定は困難ではございますが，引き続き，可能な限り校務の効率化を図ることにより，教員が子供と向き合う時間が十分確保できるよう，業務改善を進めてまいりたいと考えております。